予防接種スケジュール例

小児科医とよく相談して
接種しましょう。

ワクチン名	接種回数（標準）
不 B型肝炎	3回
生 ロタウイルス（飲むワクチン）	1価（2回） 5価（3回）
不 ヒブ	4回 ※裏面参照
不 小児用肺炎球菌	4回 ※裏面参照
不 四種混合（ジフテリア 百日せき・破傷風 不活化ポリオ）	4回
生 BCG	1回
生 MR（麻しん風しん混合）	2回
生 水痘（みずぼうそう）	2回
不 日本脳炎	4回
不 HPV（子宮頸がん）	3回

0歳 1か月 2か月 3か月 4か月 5か月 6か月 7か月 8か月 9か月 10.か月 11.か月 1歳 1か月 2か月 3か月 4か月 5か月 6か月 7か月 8か月 9か月 10.か月 11.か月 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 （満年齢） 8 9 10 11 12 13

1回目から2回目までは27日以上の間隔をあけて受けましょう。
3回目は1回目の接種から約5か月以上の間隔をあけて受けましょう。

1価と5価のワクチンがありますので、どちらかを受けましょう。
遅くとも、生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの接種回数を受けましょう。

同時接種でも受けられます。

二種混合（ジフテリア・破傷風）
11歳で追加接種（接種対象：11～13歳未満）

同時接種でも受けられます。

幼稚園、保育園の年長になったら、
早めに受けましょう。

1歳の誕生日が来たら受けましょう。

追加接種は、初回接種から3か月の間隔を
あけて受けましょう。

9歳で追加接種

中学1年で接種開始（接種対象：小6から高1の女子）
2価と4価のワクチンがあり、それぞれスケジュールが異なります。

不 不活化ワクチン　生 生ワクチン　…定期予防接種（無料で接種できる）対象となる時期　…おすすめの接種時期（数字は接種回数）

※原則

生 → 27日以上あける → 生

…同時接種

同時に複数のワクチンを接種することができます。
安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。